

伊奈学園総合高等学校同窓会

第 2 回理事会

日時：2014 年 3 月 9 日（日）10:00～12:00

場所：さいたま市宇宙劇場（第 2 集会室）

式 次 第

○開会挨拶

○議長・書記の選出

○出欠確認

○議案審議

- ・ 議案第 1 号 2013 年度事業報告（案）
- ・ 議案第 2 号 伊奈学園創立 30 周年記念事業報告
- ・ 議案第 3 号 2014 年度事業計画
- ・ 議案第 4 号 2014 年度予算計画

○その他

- ・ 議案第 5 号 （仮称）伊奈学園同窓会創立 30 周年記念事業の提案
- ・ 議案第 6 号 交通費支給規定の新設について

○人事案

- ・ 2014 年度役員人事（案）
- ・ 理事名簿（2014 年 2 月 9 日現在）

○閉会挨拶

議案第 1 号 2013 年度事業報告（案）

1 一般活動報告

- 2013 年 6 月 29 日（土）10:00～12:00 第 1 回四役会
- 2013 年 7 月 7 日（日）10:00～12:00 第 1 回理事会
- 2013 年 9 月 8 日（日）13:00～16:00 定期総会
- 2014 年 2 月 9 日（日）10:00～12:00 第 2 回四役会
- 2014 年 3 月 9 日（日）10:00～12:00 第 2 回理事会（予定）

2 委員会活動報告

2.1 会報誌編集委員会

2013 年 8 月に Inajin35 号を発行した。

2012 年度より発行回数を年 1 回（夏）、配付対象を全正会員としたが、これは、伊奈学園創立 30 周年の告知を全正会員に行いたいことから、告知の手段として会報誌を利用することが適切であると判断したため、配付対象を全正会員に改めた。

これに伴い、卒業後 11 年目以上で継続送付会費を納めた正会員に対して、支払った継続送付会費の全額返金を希望するか、もしくは同窓会にご寄付いただきたい旨を Inajin に掲載したところ、2014 年 2 月現在で 3 名の返金希望があり、対象者に全額を返金した。なお、寄付の申し出については、2013 年度は現在までの所寄せられていない。

2.2 会員名簿維持管理委員会

2013 年 3 月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる 27 期生 797 名を会員名簿に追加した。2013 年度（1 月末現在）の名簿更新実績は、**別紙 1**のとおり。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

2013 年度（1 月末現在）のウェブサイト更新実績は、**別紙 2**のとおり。その他、以下の取り組みを行った。

ウェブサイト構成の再検証

今後、多くの同窓会関係者に幅広い更新を行ってもらうことを前提に、ウェブサイトの更新が専門的知識が無くても可能かどうか、各構成を再検証。現時点で「Movable Type（以下 MT）」という CMS（コンテンツマネージメントシステム）を使いウェブサイトを構成。結論としては、MT の内部の構成により、コンテンツの所在が専門家でも判断しづらい上、結局専門的知識がないと構成できない。さらに、MT 自体がマイナーなシステムであり、さらなるウェブサイトの向上には不相応なシステムであるという結論に至り、次年度からのシステムの改新に向けての検証に移行した。

2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

複数年代にまたがる卒業生同士の交流を目的として、第 16 期～第 18 期の卒業生を対象としたホームカミングパーティを 2013 年 10 月 26 日（土）に開催を計画したが、台風 27 号接近による外出の危険性や、参加申込が 5 名と元々少なかったことに加えて前日までに 2 名がキャンセルしたため、参加者が 3 名になることから開催を見送った。

年度内の開催を目指して、改めて計画しなおすこととする。

3期合同での実施は2013年度で終了し、今後は委員会内に「未来へのハガキ事業」を設置して今後の活動計画を見直すこととする。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

2013年11月12日（火）15時30分から伊奈学園にて希望者を対象として、卒業生による講演会を開催した。開催状況は別紙3のとおり。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトにて講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集した。

2.6 年次活動推進委員会

2013年度の年次理事補助金制度の利用は、1件（24期生同窓会）だった。制度があまり活用されていない現状であるが、その背景に告知の不足が考えられるので今後ウェブサイト、会報誌 Inajin、理事メーリングリスト等を活用し周知をしていく。

また理事に4名の候補者が出ている。理事のいない年次もあることから引き続き充足に力を入れていく。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を2013年8月4日（日）に開催した。開催状況は別紙4のとおり。今後、2014年3月9日（日）に開催予定。

2.8 会則改正検討委員会

2013年9月8日（日）の総会で会則および細則の改正案が承認された。今後、必要に応じて検討を行う。

議案第2号 伊奈学園創立30周年記念事業報告

2013年10月12日（土）13:00より

大宮ソニックシティ大小ホール、および市民ホールにて伊奈学園創立30周年記念事業として記念式典・記念講演・祝賀会が滞りなく執り行われました。別紙5参照

議案第3号 2014年度事業計画

1 一般活動計画

2014年6月 第1回常任理事会（現四役会）

2014年7月 第1回理事会

2014年9月 定期総会

2015年2月 第2回四役会

2015年3月 第2回理事会

2 委員会活動計画

2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOG の活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

伊奈学園創立 30 周年を機に、2012 年度より発行回数を年 1 回（夏）、配付対象を全正会員としたが、2014 年度以降も引き続き年 1 回発行し、全正会員に送付することとしたい。（発行回数については、同窓会という性格上、会報誌の制作に大幅な作業ロードをかけられないことや後記に挙げた名簿の更新等の効果を考えると、Web に掲載するだけや学園祭で配布するといった手段ではなく、正会員全員宛に送付することが望ましい。そのための送料は極力抑えるために、年 1 回としたい。）

配付対象については、卒業後 11 年目以降の正会員にも定期的に会報誌が届くことによって、同窓会活動に興味を持ってもらいたいこと、また、住所変更等の現状を正会員から積極的に連絡する注意喚起となること等から、全正会員とすることが望ましい。現に、卒業後 10 年間に限定していた頃に比べて 2012 年度以降、名簿の更新依頼が増えていることから一定の効果が認められる。

但し、年間に約 800 人正会員が増加する（単純な卒業生の増加を指す。実体的な届け先不明等の会員減少は含んでいない。）ことから、送付については年度ごとに検討を続ける必要があると考える。毎年の予算を圧迫し、同窓会内の預金の利用が必要な事態になる場合は、全員送付は困難になるものと考えられるので、数年の間に名簿維持管理委員会及びウェブサイト維持管理委員会と協議の上、送付に代わる全員配布方法も模索したい。海外に送付する要望について、現在は対応をしているが、送料を考えると今後の増加を加味して、規定をつくる必要性が出てくるものと思料する。

また、諸事情により会報誌の送付を望まない正会員が過去にいたことに配慮し、Inajin36 号からは、送付中止の要望も受け付ける旨、記事として掲載する予定。

なお、今後、ページ数を増やして広告スペースを増やし、寄付の単価を下げた広告収入を増やす等、会報誌としてある程度採算が取れるように検討する。

2.2 会員名簿維持管理委員会

2014 年 3 月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる 28 期生約 800 名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

2.3.1 同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。

2.3.2 ウェブサイトを構成するシステムの改新

ウェブサイトが、各役員が更新できるようなシステムで構築できるよう検討。近年スマートフォンやタブレット等からウェブサイトを見る人が増えたことも含め、それらにも対応したデザインで、誰もが気軽に訪れることができるウェブサイト作りを目指す。

2014 年度中に具体的な提案ができる見込み。

2.3.3 サーバ及びドメインの移行

現在、ウェブサイトなどを管理しているサーバは、最近のコストパフォーマンスに優れたサーバと比べるとコストが高く、さらにドメインもサーバの会社名が入っており、サーバ攻撃を受けやすい状態であり、セキュリティ上好ましくない。よって、コストパ

パフォーマンスに優れたサーバへの移行と、「inagaku-dousou.net」のような独自ドメインの取得を検討 2014年度中に具体的な提案ができる見込み。

2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

「未来へのハガキ事業」による活動を計画する。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をしていただき後輩たちの進路に役立ててもらおうことを目的として、PTA および後援会の協力のもとに講演会を実施する。開催日は2014年11月を予定。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトにて講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。

2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。

年次理事補助金制度が活用されていないことから、他の事業との連携も含めた見直しを検討する。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を開催する。

委員会のメンバーを増強し、演奏会などの企画を交えた新しいスタイルで参加者を増やす努力をする。開催は年2回（8月および11月）を予定。

議案第4号 2014年度予算計画

2013年9月8日（日）の総会で別紙6のとおり承認された。

なお、2013年11月21日（木）に同窓会名義の証書・口座の代表者名を村松会長名義に変更した。2015年度予算計画に向けて交通費支給規定の新設を検討する。2014年9月の総会で交通費支給規定が承認された場合、運営費に「交通費」の支出項目を新設する。

議案第5号 （仮称）伊奈学園同窓会創立30周年記念事業の提案

別紙7参照

議案第6号 交通費支給規定の新設について

別紙8参照

伊奈学園同窓会 2014 年度役員人事（案）

（★印以外は 2012 年通常総会にて承認済み）

顧問

★足立 哲也（現学校長）・★金子 圭一（3期）・★原 雅之（1期）

会長

村松 猛（4期）

副会長 兼 いなじん交流推進委員長

畠山 篤士（6期）

副会長 兼 先輩と夢を語ろう実行委員長

石川 剛（8期）

会計

船崎 多美子（2期）

会員名簿維持管理委員長

浜野 絢也（10期）

ウェブサイト維持管理委員長

加藤 歩（10期）

会報誌編集委員長

早坂 拓紀（13期）

会則改正検討委員長

城口 敦弘（4期）

年次活動推進委員長

田中 健一（4期）

ホームカミングパーティ実行委員長

箱田 卓也（7期）

監事

後藤 昌弘（1期）

監事

★欠員

| 伊奈学園同窓会理事名簿 | | | | | | |
|-------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 1期 | 倉田 健一 | 奥平 季之 | 青木 かおり | 針谷 信二 | | |
| 2期 | 大崎 哲司 | 渡辺 剛 | 中根 一幸 | 川窪 葉子 | | |
| 3期 | 武井 洋人 | 久森 寛之 | 氏家 健司 | 小室 雅成 | | |
| 4期 | | | | | | |
| 5期 | 岡部 忠亮 | 北野 真 | | | | |
| 6期 | 菊池 孝一 | | | | | |
| 7期 | 乾 理 | 渡辺 敏光 | 大塚 一慶 | | | |
| 8期 | 菅原 文仁 | | | | | |
| 9期 | 岩崎 一彦 | 高橋 彰宏 | | | | |
| 10期 | 矢部 雅志 | 野川 太樹 | | | | |
| 11期 | 鹿野 智孔 | 新井 兼 | 佐藤 千恵美 | 越智 浩一 | | |
| 12期 | | | | | | |
| 13期 | 伊藤 靖剛 | | | | | |
| 14期 | | | | | | |
| 15期 | 前島 沙織 | 眞藤 泰生 | | | | |
| 16期 | | | | | | |
| 17期 | 石川 佳央里 | | | | | |
| 18期 | 開 真紀 | | | | | |
| 19期 | 富田 香 | 鈴木 信博 | 小村方 健 | | | |
| 20期 | | | | | | |
| 21期 | 奥山 宏美 | 野本 麻恵 | | | | |
| 22期 | 泉 望 | | | | | |
| 23期 | 山田 篤寛 | | | | | |
| 24期 | 山田 暢史 | 濱田 祐輔 | 八幡 佑里 | 藤間 朱美 | 濱野 拓也 | 森下 凌介 |
| 25期 | 菅原 美咲 | 佐野 慎哉 | 薄木 翔子 | | | |
| 26期 | 小谷野 愛巳 | 北澤 拓夢 | 二村 亜里沙 | | | |
| 27期 | 森 亮樹 | 郷田 光希 | 濱野 ひと美 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

オブザーバーはグレー文字にて表記